

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	議会運営支援事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>参集・オンラインを問わず、瑕疵のない、安定した議会運営を円滑に進めることができるよう、議会事務局職員間での日頃からの事例研究や情報共有を密にしながら取り組んでいく。</p> <p>また、臨時会や閉会中における委員会審査など、定例会の会期外に行われるものについても、時宜に即した審査・審議が行うことができるよう、事務局として各委員会や関係機関との連絡も密にして取り組んでいく。</p> <p>さらに、請願や陳情、議員提出議案、意見書の提出等、議会に関連する各種手続におけるオンラインの活用についても、制度化及び運用を進めていく。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
議会本会議及び委員会、議員全員協議会の開催数(暦年指標)	回	77	79	90	90
オンラインを用いた委員会や議会事業数(1月から12月までの暦年指標)	回	14	17	20	20

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例会の運営支援		■ 第2回定例会			■ 第3回定例会				■ 第4回定例会			■ 第1回定例会
臨時会・閉会中審査の運営支援	■ 年間を通じ、随時実施											
オンラインを活用した議会手続の制度化と実施	■ 制度案や運用案の検討						■ 実施・必要に応じて見直し					
進捗状況	対面の手法による本会議・委員会をはじめとした議会運営に加え、Zoomによるオンラインを活用した委員会や各種会議の実施、議会事務局職員による研修、平時からのICTやソフトウェア関連の問い合わせや相談に対するフォローアップを通じ、対面・オンラインの手法を問わず、本会議・委員会をはじめとした会議の円滑な開催を支援した。										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	議会運営を支援する議会事務局職員の知識・判断力をより一層充実させるため、事例研究や情報共有に継続的に取り組んでいく。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,429	7,058	10,572	
事業費計(A)	5,429	7,058	10,572	令和6年度より、電子書棚及び採決システムの使用料990千円が発生、また令和6年度はWi-Fiのアクセスポイントの設置、デジタル一眼レフカメラの購入により備品購入費が約460千円増となっているため事業費が増となった。	
人件費	正規職員数	7	7		7
	業務時間	3,348	3,420		3,816
	その他職員人件費				
人件費計(B)	10,687	10,992	12,703		
トータルコスト(A+B)	16,116	18,050	23,275		

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	議会情報発信の充実						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>議会開会中・閉会中を問わず、市ホームページ、Facebookページ、メールマガジンといったデジタル媒体を中心に、議会の情報をタイムリーに、かつわかりやすく発信する。また、デジタル媒体の補完として、紙媒体でひびき概要版を発行し、議会の活動をわかりやすくお知らせしていく。</p> <p>さらに、既存の市ホームページに掲載されている取手市議会の様々な取組については、全国的にも高い評価を頂いていることを踏まえ、データベース・アーカイブとしての役割を確保しながら、より直感的にアクセスができるよう、構造及び内容の見直しに取り組む。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
市議会インターネット配信視聴回数	回	30,517	33,633	47,000	47,000
市議会インターネットチャンネル登録数	件	676	783	900	900
Facebookページフォロワー数	件	758	785	900	900
会議録検索システムアクセス数	件	10,454	8,364	13,000	13,000
ひびきメール登録数	件	1,452	1,423	1,500	1,500

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市ホームページ・ひびきメール・市議会Facebookでの情報発信	年間を通じ、随時実施											
議会報ひびき発行	251号発行		252号発行				253号発行		254号発行			
市ホームページの情報のアクセス性向上	年間を通じ、随時改善											

進捗状況	<p>市議会インターネット配信(YouTube)視聴回数やチャンネル登録者数、Facebookページフォロワー数は順調に増加で推移している。なお、YouTubeチャンネルについては、令和6年度途中から、委員会ごとに色分けしたサムネイルを設定している。</p> <p>ひびきメールの登録者数は、昨年度に比べて減っているため、市議会に関する有用な情報を積極的に発信し、登録者数を増やしていく。</p> <p>議会報ひびきについては、デジタル媒体と紙媒体を発行し、それぞれの特性・長所を生かしながら、議会情報を発信することができた。</p>	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	---	-----	-------------------

今後の方向性	<p>継続</p> <p>引き続きさまざまなチャンネルを用いて、タイムリーかつわかりやすく議会情報を発信していく。なお、市ホームページ上のデータ量が膨大になりつつあるので、探している情報にすぐにたどり着けるようカテゴリ分けなどの整理分類を行っていく。</p>
--------	---

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,889	2,910	3,325	
事業費計(A)	2,889	2,910	3,325	前年度に比べて議会だよりの発行回数が1回少なく、その分の業務時間が減少したため。	
人件費	正規職員数	7	7		7
	業務時間	2,249	2,190		2,200
	その他職員人件費				
人件費計(B)	7,179	7,039	7,324		
トータルコスト(A+B)	10,068	9,949	10,649		

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市民の理解・関心度を高める事業支援						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>オンラインを併用しながら、市民や学生と議員等が直接に対話する機会を創出することを通じ、議会をより身近に感じられる取組を進める。</p> <p>また、その対話の中から政策提言につながる素材を拾い上げ、市民や学生と一体となった政策提言のための支援を行う。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
市民との意見交換会の参加者数 (オンラインによる参加者を含む。)	人	73	87	90	90
中学生等との対話事業を実施した学校数	校	0	1	2	2
市民との意見交換会・学生からの提案で政策提言につながった案件数	件	0	0	2	2

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市民との意見交換会の実施	事前準備	実施				事前準備		実施				事前準備
意見交換会実施後の 意見の調査検討			寄せられた意見についての調査・検討						寄せられた意見についての調査・検討			
中学生との協働事業	教委・学校説明			希望学校との協議・事業実施							提言事項の調査・検討	
進捗状況	<p>市民との意見交換会を令和6年5月と令和7年1月の計2回開催し、昨年度に比べて参加者を増やすことができた。なお、市民との意見交換会については、11月に高校生を対象とした意見交換会を計画し、実現は叶わなかったが、より多くの世代から関心を持ってもらう取り組みとして、今後も継続して取り組んでいくこととなった。</p> <p>中学生との協働事業は、戸頭中学校と協議の結果、3学年の2クラスの全生徒を対象に実施し、令和6年11月に出席授業形式、12月に議場にて模擬議会形式で実施した。</p>									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	引き続き市民との意見交換会を行うほか、こどもや若年層との意見交換・対話を行う機会を積極的に増やし、政策提言につなげていく。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2	2	2	
事業費計(A)	2	2	2	中学生との協働事業を実施できたため、当該経費が増額となった。(事業実施のため人件費が増)	
人件費	正規職員数	7	7		7
	業務時間	112	280		300
	その他職員人件費				
人件費計(B)	358	900	999		
トータルコスト(A+B)	360	902	1,001		

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	新しい議会の形作りの支援						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
<p>官民学連携によるデモテック戦略事業や音声テック協定によるICT・生成AIを活用した新たな議会運営の取組について、取手市議会から全国の地方議会へと発信していくための支援を事務局として行う。また、重点事業②とも関連し、これまで市ホームページで発信してきた取手市議会の様々な取組について、その取組が全国的にも高い評価を受けていることを踏まえ、データベース・アーカイブとしての役割を確保しながら、より直感的にアクセスできるよう、また内容についてもさらに充実するよう、見直しを進めていく。あわせて、生成AI機能の議会活動・議会事務への活用の可能性について検討していく。</p>

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
官民学等連携によるデモテック推進セミナー等の開催・協力	回	2	2	2	2
デモテック戦略・ICT・議会のオンライン化に関する視察受入・研修講師	回	37	35	40	40

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
デモテックの取組の発信	年間を通じて発信・改善											
オンライン選挙投票の手法の検討	年間を通じて検討											
GPT機能を活用した議会情報の要約検証	検証	フィードバック	活用	検証	フィードバック	活用	検証	フィードバック	活用	検証	フィードバック	
議会活動での生成AI機能の活用検討	年間を通じて検討											
オンライン会議・議会ICT関連行政視察の受け入れ	定例会会期中及び定例会準備期間を除き、通年で受け入れ											
進捗状況	<p>デモテックの取り組みのひとつとして取り組んできた、電子投票システムを活用した選挙を、令和6年2月29日に「一般会計予算・決算審査特別委員会」の副委員長選挙において全国で初めて実施した。これにより、委員会において、正副委員長の選挙から採決まで、オンラインで全てが完結することが可能となった。</p> <p>デモテック戦略協定や音声テック協定の協定関係者の対談をそれぞれ実施し、これまでの活動の振り返りと今後の取り組みの方向性について協議を行った。</p> <p>デモテック、音声テックにおいて取り組んでいるオンラインやICT化の取り組みについては、全国各地からの視察受け入れのみならず、各種団体によるセミナー等における登壇等を通じ、全国の地方議員や行政関係者等に周知している。</p>										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	議会運営におけるさまざまなICTデバイス及び生成AIを含めたシステムプログラムの有効性・信頼性などを確認しながら、より効率的な議会運営の方法を模索し、全国の自治体と情報共有していく。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	23	0	0	
事業費計(A)		23	0	0	視察受入回数の減などにより人件費が減った。
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	460	390	350	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,468	1,253	1,165	
トータルコスト(A+B)		1,491	1,253	1,165	